

吉田 稔 筆

平成29年10月 No.123

● 編集・発行  
柏市増尾地域ふるさと協議会  
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033  
柏市増尾三丁目1番1号  
増尾近隣センター内  
☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域

# 「サロンますのこ」1周年記念行事 ますのこまつり開催

梅雨の晴れ間の6月17日(土)、多世代交流コミュニティ「サロンますのこ」は、「ますのこまつり」を増尾西小学校で開催しました。

体育館では劇団「おはなしおはなしグーチョコキパー」による人形劇ロシア版「大きなかぶ」に拍手喝采。続いたの「翔の会」ドラムサークルのリーダーによる太鼓の音は、車座になった来場者を巻き込み、会場は歓声に包まれました。

「みんな、おいでよ！ サロンますのこ！」では、裂き織り、折り紙、割りばし鉄砲、輪投げ、牛乳パックの

びっくり箱作り、地元発の球技「パンボン」の体験などでスタンプラリーに挑戦。

駐車場は「サロンつちのこ」の模擬店や福祉団体の出店でにぎわいました。

今後も学校や地域と協力して、子どもたちと共に歩み続けたいと思います。

サロンますのこ

柴田 桂子

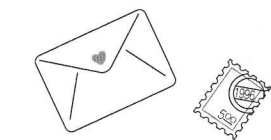


作品作りにみんな一生懸命

## 私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

### 木戸前町会



当町会の世帯数は89世帯で、65歳以上の高齢化率は約45%、単身者世帯率は20%、空き家率が10%です。分譲地ができてから約60年を経過しており、典型的な少子高齢化の町会となりました。

町内は道路が狭く木造住宅が密集しているため、火災が心配です。町会への加入率は、ほぼ100%であり未加入の問題はありません。

町会の取り組むべき差し迫った重要な課題は、高齢化対策と防災対策と考えています。誰でも緊急時には遠方の親戚縁者よりも近所の方が頼りです。普段から隣近所のおしほを大事にして日ごろの会話や挨拶が大切ではないでしょうか。

防災については、毎年9月の防災の日に高齢者を

対象に避難訓練を実施しています。万が一、災害が発生した時にはご近所力による初期活動は不可欠ですから、今後も訓練を継続していくつもりです。しかし、高齢者をサポートする方も高齢化しており、これまでのような訓練は困難になりつつあり、何らかの工夫が必要と思っています。何年後には高齢化がますます進み、コミュニティー活動や個人の日常生活にも支障が生じて、町会の運営ができなくなるのではとあやぶんでいます。

他の町・自治会も多分同様の状況下にあると思います。打開策を探っていますが、なかなか名案が浮かばないのが実情です。  
会長 國分 功





## 「サロンつちのこ」で夏祭り

8月5日(土)土小学校で、多世代交流コミュニティ「サロンつちのこ」が夏祭りを開催しました。体育館では吹き矢やストラックアウト、校庭では竹筒水鉄砲遊びやヨーヨー釣りなど。暑さも何のその、子どもばかりか大人までもが遊びに熱中していました。



リアルな墓場が不気味です

井戸や墓場を設置しました。衣装やメイクにも凝り、大変クオリティーの高い仕上がりに。来場者の絶叫が響きわたり、大泣きの子どもも続出でした。

サロンつちのこボランティア

目玉は何と言ってもお化け屋敷です。いつものつちのこルームを廃墟となった病院に設定。このアトラクションには、20名もの子どもボランティアが、企画、準備、出演と大活躍しました。先生、PTAの方々も加わり、リアルな古

## ちびっこ体操教室 文化体育部

6月18日(日)、増尾近隣センター体育室に就学前の元気なちびっこ24名が保護者と一緒に集まってくれました。

講師はおなじみの石原由紀子先生です。最初は体をほ



いつも元気一杯、石原由紀子先生

ぐすストレッチ。家ではなかなか難しい体操も、広い体育室ではのびのびとできます。子供たちは配られた新聞紙をクルクルと丸めてバットにしたり、くしゃくしゃに丸めてボールにしたり、折り紙のように折って帽子を作ったり。休憩の後、平均台、ネットくぐり抜け、自走式キャタピラー、ぴよぴよんロディちゃん、段ボールトンネルなどの遊具で体育室を1周。何周かするうちに、どんどん上手になりました。

ひとりひとりのスナップ写真と参加賞をお土産に。来年もまた来てね。  
文化体育部 小林 みつえ

## 二人でクッキング 地区社協部

8月6日(日)、増尾近隣センター調理室で夏休み親子企画「二人でクッキング」を開催しました。10組21名の参加者とスタッフ8名の総勢29名で行いました。

メニューは、ロコモコ丼、野菜スープ、フルーツゼリーです。まずはお米をといで炊飯器にセットしてから、フルーツゼリーを作り始めました。フルーツ缶を同じ分量に分けられるかと不安の声も聞こえましたが、上手に分けて次の段階に。野菜スープやロコモコ丼の中に、みんなの嫌いなものはなかったかな。大人も子どもも涙を流しながら、玉ねぎのみじん切りに挑戦した包丁を持つ手は“お母さん”時はちょっとつらかったよね。

各テーブルには、協力しながら作ったおいしそうなお料理が並び、どのテーブルも笑顔で包まれました。

地区社協部 佐野 好宗

## 夏祭り 気まぐれ天気にてんやわんや

子どもたちが夏休みに楽しみにしている夏祭り。松野台自治会7月15日～16日、廣幡八幡宮7月23日、加賀町会8月5日～6日、増尾町会8月20日、南ヶ丘自治会8月20日に開催しました。祭りちょうちんの下、どの会場にもはしゃぐ子どもたちがあふれ、盛り上がりました。

8月19日は開会直前の夕方6時ごろから、激しい雷雨に。やむなく増尾町会は翌日1日だけの開催となり、南ヶ丘自治会は翌日に順延になりました。



# 命を救う応急手当 救急救命講習会

7月15日(土)、増尾近隣センター体育室において「正しい心肺蘇生法の知識と技術を学びましょう」のテーマで防犯防災部主催の救命講習を実施しました。平成22年から始めて6年目、通算11回になります。参加者は26名、内5名が再受講の方でした。

まず、DVDで救命処置の方法を見てから実践です。指導に来てくださったのは、柏市消防局東部消防署の救急隊長他救急隊員5名の方々。参加者は5つのブースに分かれて、実際の救急現場での話を聞きながら指導を受けました。当日は猛暑で「もし具合が悪くなっても大丈夫、安心して」と冗談ではなく本気で言いつつ、5台の大型扇風機をフル回転させました。通常なら受講後に皆さんの感想を聞くところですが、あまりの暑さに修了証の授与の後、早々に帰宅していただきました。

参加申込時のメッセージ欄には「昨年、家族が意識不明となり、救急車到着まで心肺蘇生を行いました」「町会の自主防災活動をしています」「今回は完全に覚えて、皆さんの役に立ちたいと思います」などがあり、意気込みが感じられました。

防犯防災部 間宮 節子



大事な胸骨圧迫を習得します

## 振り込め詐欺を防ぐには 消費生活コーディネーター南ブロック講演会



防災安全課職員の説明に聞き入ります

消費生活トラブルを未然に防ぐため、消費生活センターと市民の連携を図り、市民の安全と安心を守る活動をしている消費生活コーディネーターをご存じですか。増尾地域では、当ふる協から推薦された川口厚子さん、山根肇さんが消費生活コーディネーターとして活動しています。

「柏市の振り込め詐欺対策について」と題して、増尾・光ヶ丘・南部・藤心・酒井根地域の南ブロック消費生活コーディネーターが講演会を開催。8月24日(木)猛暑の中、会場の南部クリーンセンターホールには、振り込め詐欺に関心を持つ70名の参加者が集まりました。

詐欺には「オレオレ詐欺」「還付金詐欺」「架空請求詐欺」などがあります。柏市の7月までの被害状況は、既に昨年を超える被害額になっています。

話題になることが多い振り込め詐欺ですが、自分だけはだまされないと思っていませんか。不審な電話があったら、1人で悩まず、柏警察署(TEL 7148-0110)、柏市防災安全課(TEL 7167-1115)、柏市消費生活センター(TEL 7164-4100)に連絡をしてください。

総務広報部 嶋田 由紀江

## 雨のホタル見学会 文化体育部

7月4日(火)は夜7時から雨が降り出しました。ホタルは雨の日はあまり光らないと言われています。7時15分、雨の中、子ども4名、大人30名で増尾近隣センターを出発です。

中原小学校前で「柏ホタルの会」の皆さんが待っていてくれました。会の活動の様子と、長期間多くの人による世話が必要な幼虫の飼育について教えてもらいました。

雨の中、心配しながら現地に足を踏み入ると、

葉陰にホタルが光を放っています。オスは空中を舞いながら光り、メスは地面近くで光るそうです。雨にもかかわらず、あちらこちらで光るホタルを堪能することができました。

また、今年は「柏ホタルの会」主催の「ホタルの夕べ」に増尾地域ふるさと協議会の有志延べ34名が、6日間ボランティアスタッフとして参加協力をしました。同じ地域での協力の大切さが実感できたホタル見学会でした。

文化体育部 小林 みつえ



# 犯罪ゼロを目指して 防犯キャンペーン実施

増尾地域17町・自治会で組織する「柏市防犯協会増尾支部」は、犯罪のない明るい社会を作るために活動をしています。すなわち社会環境の浄化と警察の防犯活動に積極的に協力し、防犯効果の推進を図り安全・安心なまちづくりを目的としています。

柏市では自転車の盗難、空き巣の犯罪が増加していることから、「防犯にはロック(鍵)する」の語呂合わせで、6月29日(木)午後5時30分から東武線増尾駅西口前と新柏駅東口前の2か所で10町・自治会の役員並びに柏警察署、柏市防災安全課、防犯ボックス、防災協会による「防犯キャンペーン」を実施しました。

総勢37名が参加し、柏警察署長から最近の犯罪情報と注意点の説明を受けた後、「自転車の盗難防止」や「空き巣に注意」のチラシとワイヤー錠、ポケットティッシュなどを2か所で800名に配布しました。自転車の盗難被害の6割が無施錠によるもので、自宅での被害が最多です。自宅でも油断せず鍵をかけることが効果的です。

防犯協会増尾支部 高林 幹雄



自転車は必ず鍵をかけて！

## 房州うちわづくり 地区社協部

7月9日(日)土中学校技術室に、モノづくりの大好きな親子、シニア世代の方々、「サロンつちのこ」サポーターら20名が集まり、房州うちわづくりを行いました。

講師は、実際に現地を視察した「サロンつちのこ」のスタッフ2名。参加者は汗だくで割り竹を編み竹にする作業に取り組みました。

地区社協部

大江 幹



# 「我が家の防災の手引き」

## 松野台自治会自主防災会が作成

松野台自治会の各家庭に「我が家の防災の手引き」が配布されました。7月31日(月)、松野台ふるさと会館で、この「手引き」をもとに北村厚志自主防災会委員を講師として防災講習会を実施しました。

第1部は「我が家の防災の手引き」の内容についての講習。2013年から開始した自主防災会活動を、住民に伝え理解してもらうための手引書として、自主防災会独自で作上げた冊子です。第2部は「在宅避難」について。震災時には、出来る限り自宅における避難生活がベストです。そのために必要な心構えなどを確認しました。

「手引き」は、各家庭で「非常持ち出し品・備蓄品」「我が家の避難場所」「緊急連絡先、かかりつけの病院などの電話番号」そして「避難時にとるべき行動」を記入し、オリジナルの冊子にします。いざというときの危機管理の特質として、「日ごろからやっていることしかできない」「日ごろからやり慣れていることも満足にできない」「日ごろからやっていないことは絶対できない」と言われています。家族間でこの「手引き」の情報を共有し、危機管理に備えることで被害を最小限にできるのではないのでしょうか。

総務広報部 嶋田 由紀江

## ふる協からのお知らせ

- 10月28日(土) 救急救命講習会(中・高生対象)
  - 11月 4日(土) 地域ふれあいのつどい
  - 11月 4日(土)～5日(日) 文化祭
  - 11月 4日(土)～5日(日) 環境フェア2017パネル展
  - 11月17日(金) アロマ1日講座
  - 11月26日(日) 地域探検ウォーキング
  - 12月 3日(日) つくってあそぼPart5
  - 12月17日(日) 年末夜間パトロール
- ※詳細は回覧、チラシなどでお知らせします。

## ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4金曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。

地区社協部 田嶋(TEL 7172-4683)まで、お問い合わせください。